

「覚えると考えるは全く違う！」

スイッチON！！とうとう花粉到来の季節になってきました。。暖くなるのは嬉しいのですが、日本の戦後の杉の植樹政策のつけが、国民の身体に及んでいるのはどげんせんといかん！そこでちょっと調べてみました。この政策が花粉症のきっかけでした。→昭和25年の「造林臨時措置法」。トホホ。戦後の住宅不足での措置ですね。物事には因果関係が必ずありますね。勉強になります。

さて、よく、頭が良い人の特徴として、記憶力が良い事が挙げられます。しかし、脳の分野からみると、本当に頭の良い人というのは、記憶力が良いという事ではありません。本当に頭の良い人というのは、「考える」能力に長けた方の事を言います。

「記憶力」つまり、ものを「覚える」事が出来るという事と、ものを「考える」事が出来るというのは、実は、脳の働き方が全く違うのです。

覚える＝何かを知ったという事。
考える＝何かを創造するという事。

「覚える」というのは、記憶するという事であり、先人が、いつ、どこで、誰が何を行なったという歴史の様に、過去の知らなかった事柄を知る事であるのです。
「覚える」という作業は、脳の単なる記憶であり、何かを作り出すわけではないのです。

会社ではよくブラッシュアップしてほしいとか、PDCAをまわしてとか、いろんな対応を求められます。会社に入社すればマニュアル・やり方を覚え、顧客や組織にアウトプットします。それは、覚えたことを100%提供しているだけです。給与以上には提供されていません。

私が希望するのは、個人の成長が会社の成長です。なぜなら会社は「考え方」の集まりで出来ています。個人の「考える」が目の前の事を進化、昇華させていきます。それが給与以上の成果となって、組織・会社の目標を超えてくる。それが昇給に繋がり環境の変化と自らの行動の変化になり、成長体験の中から「人生を豊かに」を意識していくんだと強く思います。

また、日々の施設の中での事象で「考え方」の幅は広がりません。自己投資を繰り返して外部からの刺激の中からたくさんのインスピレーションを得て、組織・チームに貢献してみてください。

これからは「覚える」事は、インターネットやコンピュータ、人工知能たちに任せて、それらを活用する「考える」人間になりましょう！

